

◆授業のポイント◆

- ・ 基礎的・基本的な知識，概念や技能の確実な習得を図る学習活動の工夫
- ・ 言語活動の充実を図る学習活動の工夫

社会科学学習指導案（地理的分野）

学 級 1年4組（男子18名 女子20名 計38名）
場 所 1年4組教室（1年校舎 4階）
授業者 教 諭 加 藤 晃 一

- 1 単 元 世界各地の人々の生活と環境（全11時間）
2 題 材 雪と氷の中でくらす人々
3 本時の実際（2 / 11）

(1) 目 標

高緯度で暮らす人々の生活について自然環境に適したくらしの工夫や伝統的な生活の変化など，地図や資料を用いて日本と比較しながら説明できる。

(2) 展 開

過程	主 な 学 習 活 動	時間 形態	○指導上の留意点 ◎評価 ※授業のポイントについて
導 入	1 イカルイトの雨温図を見て，地球上のどの都市の気候か予想する。	8分 一斉	1・ 日本とイカルイト（カナダ北部）の雨温図を提示し，降水量が少ないこと，気温が低いことに気づかせながら高緯度の都市であることを予想させる。 ・ 地図中の6都市から選択させる。
	2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一年の大半が雪と氷におおわれているところで，人々はどのように暮らしているのだろう。</div>	2分 一斉	2・ 本時の学習課題を設定する。
展 開	3 雨温図や資料から寒帯の自然の特徴について理解する。	8分 一斉	3・ 寒帯の自然の特徴について気温や雨量，植生など日本と比較しながら説明する。
	4 5枚の写真から，人々のくらしの工夫を読み取り，自然条件と結びつけて発表する。 □ 予想される答え 犬ぞり，イグルー，毛皮，生肉，スノーモービル，近代的な家・家具，防寒着 など	15分 班	4・ 衣食住等の情報が入った5枚の写真を提示し，日本と比較させながらイヌイットの生活について考えさせる。 ※ 資料を読み取るための基礎的・基本的な知識・技能の育成 ※ 言語活動の充実を図る学習活動の工夫 ◎ 写真から必要な情報を読み取り，人々の生活の特徴を説明することができたか。
終 末	5 イヌイットの伝統的なくらしが変化していることを理解する。 □ 定住化，仕事の変化 など	5分 一斉	5・ 生徒の意見を「伝統的な生活」と「現代の生活」に分類したり，教師の準備した資料を基にしたりしながらイヌイットの生活の変化について説明をする。 ・ 政府の政策やスーパーマーケット，空港などの資料を提示する。
	6 学習課題についての自分の考えをまとめ，発表する。 例．一年の大半が雪と氷におおわれているので植物が育ちにくいから，かつては狩猟のため犬ぞり等で移動しながらテントやイグルーでの生活をしてきたが，現在では定住化し，スノーモービルで移動するなど，近代的な生活に変化してきている。	12分 個	6・ 学習課題についての考えをまとめさせ，代表生徒に発表させる。 ・ 条件：伝統的な生活，現在の生活の例を1つずつ挙げて説明すること。 ※ 言語活動の充実を図る学習活動の工夫 ◎ 学習課題について簡潔にまとめ，適切に表現しているか。